

# 回覧

## 茂原市リサイクル推進委員会会報

会長あいさつ

日頃より本委員会の活動にご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、本年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、総会を書面開催で行い、学習会は対象者を限定するなど、規模を縮小しての活動が多いなか、4年ぶりに対面で開催した産業まつりでは、啓発物資を来場者に直接配布することができるとある場面もみられました。

今年度は啓発活動に力を入れ、昨年度に引き続き、リサイクルの推進やごみの適正な排出方法の周知徹底を図るため、「ゴミ出しのポイント」を作成しました。令和5年5月の自治会を対象とした文書配布で配布を行うとともに公共施設での配布を予定しております。

また、三役による代表者視察研修を行い、プラスチックごみの計画収集について、先進自治体の取り組みや、長生郡市広域市町村圏組合との意見交換を行うなど、今後の廃棄物行政に生かす活動も実施しました。今後も3Rの推進及びごみの減量を目指して活動してまいりますので、引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

茂原市リサイクル推進委員会  
会長 露崎 皓久

令和4年度功労者表彰

### 市長表彰

(個人) 庭田 義則様 (五郷地区)

### 市議会議長表彰

(団体) パイオニアグループ様 (新治地区)

### 教育長表彰

(団体) 綱島子ども会様 (五郷地区)

茂原高等学校PTA様 (茂原西部地区)

### リサイクル推進委員会会長表彰

(個人) 北木 茂様 (本納地区)

糸久 享市様 (本納地区)

白土 次男様 (二宮地区)

(団体) 関端自治会様 (東郷地区)

三井化学社宅自治会様 (東郷地区)

千代田町自治会様 (茂原中央地区)

第31区千沢自治会様 (豊岡地区)

六ツ野東自治会様 (東郷地区)

第21区桂自治会様 (新治地区)

上茂原市営住宅自治会様

(茂原西部地区)

真名自治会様 (二宮地区)

鶴枝団地自治会様 (鶴枝地区)

本納川間自治会様 (豊岡地区)

SDGsについて学ぶ(理事学習会)

令和4年10月31日(月)茂原市役所市民室において、感染症対策として、理事と役員を対象にZoom形式で開催し、20名の参加がありました。

「SDGsを考えよう!」と題して、edf・アースドクターふなばし、千葉県地球温暖化防止活動推進員、ちばSDGsパートナー3号の阿部利美様を講師に約1時間の講義を受けました。

SDGsとは、世界の国々が力を合わせ危機に立ち向かうために、持続可能な開発目標を設定したものであり、期間は2015年から2030年までです。

具体的な数値として、17の目標と169のターゲット、232の指標があります。

例えば「食品のロスの削減」についてみると、環境・経済・社会の持続可能な開発の3側面を統合的に向上する必要があるため、環境と関わりの深いゴールの達成を通じて、経済・社会の諸問題の同時解決につなげることが重要とされています。

また、「COOL CHOICE」として、CO2などの温室効果ガスの排出量削減のために、脱炭素社会づくりに貢献する「製品への買い替え」「サービスの利用」「ライフスタイルの選択」など、日々の生活の中で、あらゆる「賢い選択」をしていこうという取り組みが新たな国民運動として始まっています。

日々の生活の中で即実行できるものが多く、意識が高まりました。

## 4年ぶりに対面での開催（産業まつり）

令和4年11月3日（祝・木）に茂原ショッピングプラザアスモ駐車場において、第32回茂原市産業まつりが開催され、当委員会より12名が参加しました。

当日は天候にも恵まれたため、約7,000人の来場がありました。

感染症対策として、参加する委員を役員及び各地区代表者1名に限定するとともに、従来実施していたアンケート調査は行わずに啓発物資の配布のみとしました。

啓発物資は、生ごみの減量や食品ロス削減について、水切りネットやマグネットメモ帳などの物品と市の補助制度や当委員会の会報等の情報をまとめたものをセットにして配布を行いました。

用意していた330セットの啓発物資は、予定よりもはるかに早い段階で配布終了となりましたので、今後も継続して啓発活動をしていきたいと考えております。

## 代表者視察研修及び長生郡市広域市町村圏組合との意見交換

令和4年12月13日（火）、3役による代表者視察研修のため、三役3名と事務局1名で松戸市日暮クリーンセンター（以後センター）を訪問しました。プラスチックごみの処分は、全国的な課題となっており、千葉県内で分別収集を実施しているのは6自治体のみです。松戸市は、プラスチックごみの計画収集は週1回実施しており、センターに集められたものは、破袋機や手選別を経て圧縮梱包された後、再商品化事業者への引き渡しや、焼却施設などに搬出されています。

令和4年12月20日（火）プラスチックごみの計画収集等についての意見交換のため、長生郡市広域市町村圏組合（以後広域組合）に三役2名と事務局1名で訪問しました。松戸市の取り組みを報告するとともに、広域組合で予定している収集の計画について話を伺いました。収集について、収集日や予算などの多くの課題があるため、収集が実施されるまで時間がかかる見込みです。

## 活動報告（茂原中央地区）

新型コロナウイルス感染症により、令和2年、3年は活動ができなかったが、令和4年度は何とかその間隙を縫いながら、又感染防止に配慮しながら、学習会を2回開催した。1回目は令和4年4月1日施行したプラスチック新法を踏まえ、プラスチックリサイクルの講演を三井化学㈱にお願いしたところ、会場の提供と共に講師の選定までお引き受けいただいた。10月28日、茂原分工場の講堂にて、講師は同社のOBで日本プラスチック工業連盟の専務理事を務めていた方である。その講義内容はプラスチックの製造に始まり、日本と世界のごみ処理の違い、海洋ゴミ対策、リサイクル製品や様々な団体の対応など幅広く紹介いただいた。化学工業界の方が直接市民に説明するのは初めての試みということでご迷惑をおかけしたが、業界あげて取り組む姿勢を知ることが出来た。講師や分工場長及びスタッフの方々には、この場を借りて感謝する次第である。2回目は、我々の身近なごみに関するもので、12月4日、総合市民センター大ホールにて、講師は長生広域市町村圏組合 環境衛生課にお願いした。最新の情報を含めて全般的に解説いただき、ごみの減量が温室効果ガスの削減につながることで説明いただいた。

今後は学習会だけではなく、実際に行動することも含めて活動していきたいと考えている。



プラスチック  
リサイクル学習会



ごみ減量学習会